

心身の健康面の実態

来年度の健康課題

- 1 むし歯は少ない。(R2 健康診断結果)
  - ・12歳永久歯の一人当たり平均むし歯等数は、全国より非常に少ない。
  - 0.11 (R1:全国0.7本) → 昨年度 0.16 から減少
- 2 裸眼視力 1.0 未満の者は非常に多い (R2 健康診断結果)
  - ・裸眼視力 1.0 未満 72.9% (R1:全国 57.5%) → 昨年度 70.7%より増加
- 3 朝食を食べている人は92.1%(昨年度 88.5%)で増加しており全国 88.0%と比較すると多い。しかし、「毎日何か口に入れる程度」の人が多く「毎日しっかり食べている」人は全国より少ない。(R2 大分県学力定着状況調査 対象2年生)
  - ・「毎日しっかり食べている」75.5% (全国 75.7%)
  - ・「毎日何か口に入れる程度」16.6% (全国 12.3%)
- 4 12時以降に寝る人は33.4%で昨年度の29.3%より増加した。保健室に来室した人のうち、3人に1人が12時を過ぎて寝ている。(R2 保健室来室状況)
- 5 R2 大分県学力定着状況調査質問紙(対象2年生)では、「学習習慣」「生活習慣」「成功体験と自信」「充実感と向上心」「規範意識」「思いを伝える力」「問題解決力」「いじめのサイン」など、ほとんどの項目で望ましい傾向にあるが「対人ストレス」の項目のみが望ましくない傾向にある。「いじめのサイン」の項目は例年より改善した。保健室来室者の内科的訴えのうち 46.6%は、勉強や友人関係等の悩みが原因と考えられる。
- 8 好きな人のことで人をからかうことがあり、友人関係のトラブルにつながることもある。
- 9 新型コロナウイルス感染症の予防については、朝の健康観察、3密回避、マスク着用、手洗いの徹底、差別意識の払しょく等、全校で高い意識をもって取り組むことができた。先生に言われなくても、すすんで予防行動がとれることが大切である。

- 1 心の健康の保持増進
  - 心の健康に関する教育の組織的推進
  - ・SOSの出し方に関する教育
  - ・性に関する指導
  - ・がん教育
  - ・ネットモラル教育
  - ・薬物乱用防止教育等
  - 相談体制の充実
  - ・年3回の教育相談

- 2 病気の予防
  - 新型コロナウイルス感染症の予防
  - 視力低下の予防

全体的に、学校生活で何事にも前向きに取り組んでいる様子でした。また、生徒・保護者の皆さんは、心身の健康に関する意識が高いため、病気は少なく治療率が高い傾向にあります。

しかし、学校生活と塾や習い事で忙しく、睡眠のリズムが乱れている人がおり、心身の健康の不調の一因となることが心配です。また、「対人ストレス」などの項目がやや望ましくない傾向があり、「自分はどう思われているか」など不安が高い傾向にあります。そこで、次年度も引き続き、計画的に心の健康について学ぶことや教育相談の機会をつくっていきます。

また、新型コロナに伴う予防対策、一人一台端末に向けた視力低下予防にも取り組めます。



☆VI期後半の保健目標☆  
1年間を振り返り、健康な生活について考えよう。

- ☆一日平均保健室利用者数:4.6人(昨年度より減少)
- ☆利用者が最も多い日の保健室利用者数:28人(猛暑の中の体育大会練習)
- ☆インフルエンザによる出席停止:0人

【おうちの方へ】

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まって、もう1年が過ぎました。保護者の皆様には、朝の健康観察や行事等における感染予防対策、発熱等の症状がある場合の自宅待機や早退の対応等、ご協力いただき、感謝申し上げます。おかげをもちまして、徹底した予防対策を行うことができたこと、コロナ禍においても附中のすばらしさを実感する1年でした。次年度も、今年度同様、早期発見のため、自宅で朝の健康観察を行い、健康観察カードに結果を記入して持参しますのでお願いいたします。
- 3月17日に健康ファイルを返却します。3年間使用しますので、紛失をしないようお願いします。必要事項を記入して、始業式の日に提出をお願いします。

近頃の保健室



○「慣れないなと思った学校生活も、いつのまにか慣れました」と1年生。先日の卒業式の準備では、「先輩たちを送るためにできるだけのことをしよう」と丁寧に大切に会場準備してくれた2年生。4月には1年生を迎え、どのような附中を築いていくのか、見守っておきますね。